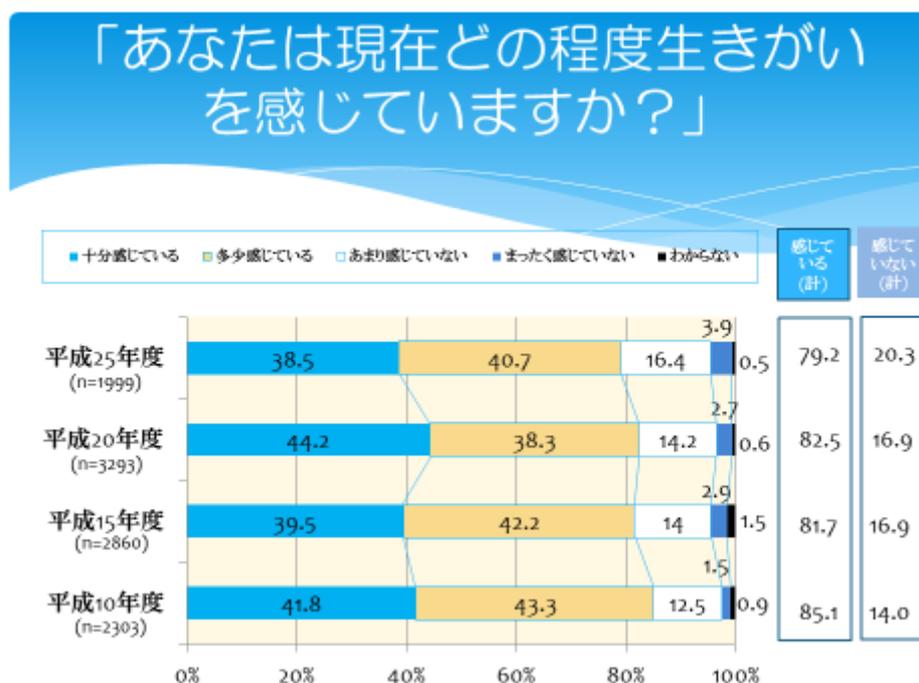


如何ですか？これまで4回に亘り、まずアンケート結果で会員の皆様のライフスタイルや現在の趣味などの現状を探ってまいりました。多くのことがつかめたと思います。更に、関根さん、秋元さん、山本さんのアクティブな リタイアメント・ライフを具にお聞きして感銘を受けられたことと思います。皆さま方も何か感じられたり、やる気を起こしたりと幅広い示唆や深い感動を受けられましたか？ 内なる力が漲ってこられましたでしょうか？

全ての人々に平等に与えられた時間、そして 人生いつも今が一番若いのです。リタイア後の長いセカンドライフを考えると今からでも何か生きがいを見つけてみたいですね。

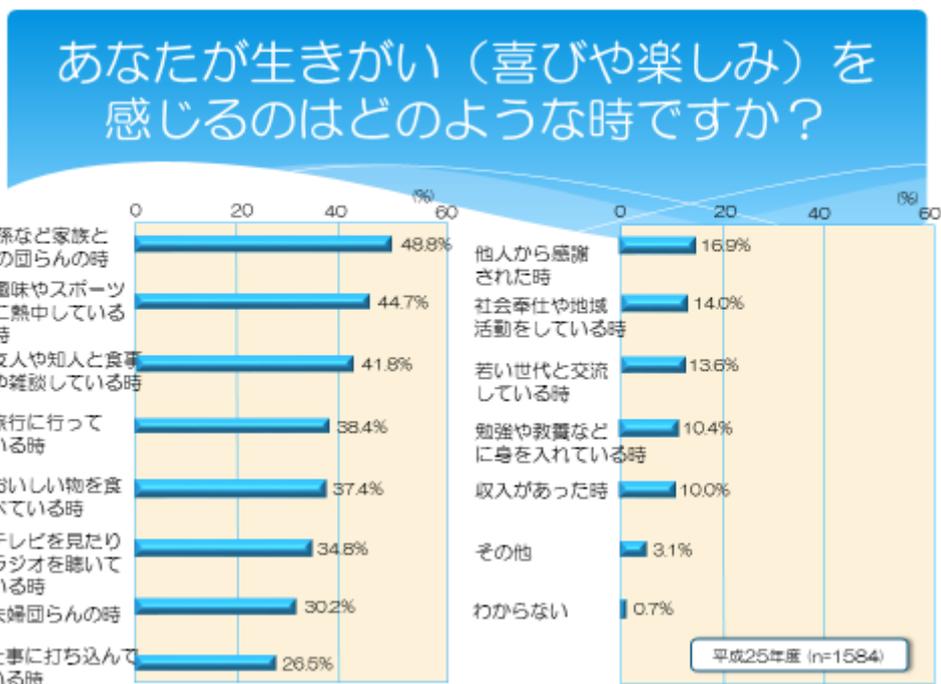
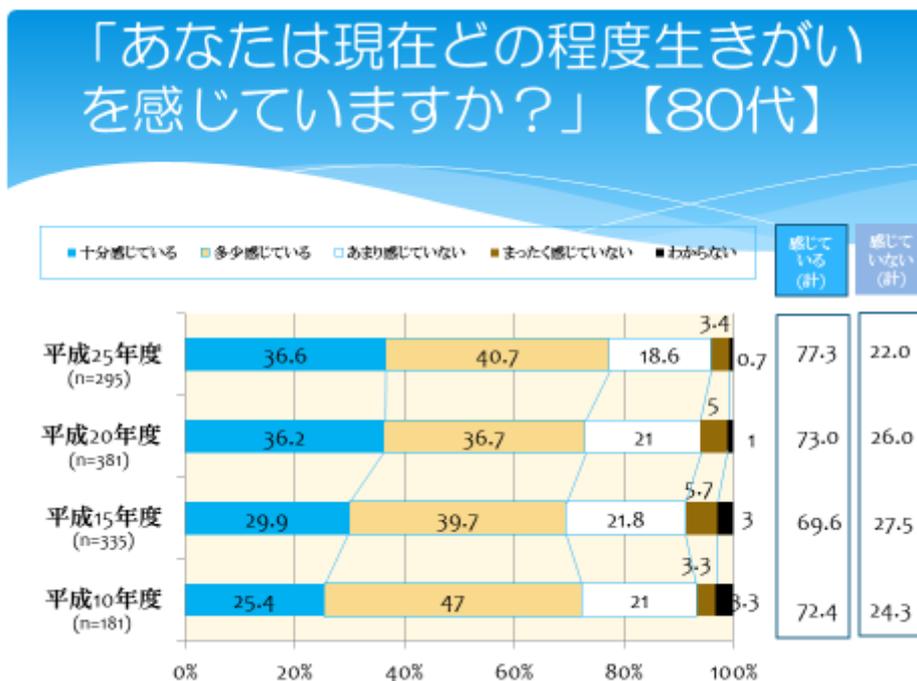
ここでご参考までに内閣府が5年ごとに行っている「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」の平成25年度版の結果から、生きがいに関するデータをご紹介します。これは、内閣府が約 2,000 名の 60 歳以上の方々に行った調査結果です。

「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」



「生きがい」とは端的には喜びや楽しみまたやりがい等のことといえますが、この調査結果で見ると約 80%の人達が満足しています。また、これを 5 年ごとの満足度の推移でも、大きな変化はありません。

しかし、これを60代、70代、80代の年齢層別にみると80代では満足度が5年ごとに上昇してきていることがわかります。色々とりえ方はあると思いますが、「生きがいの満足度」について見る限り、平均年齢約70歳強の社友会の皆様方の行く先は結構明るいものがあると思えます。



更に、生きがいを感じていると答えた人の中で、生きがいをどのような時に感じるかとの質問に対して、最も高いのは「孫など家族との団欒の時」が約 50%近くを示しています。身近なところにも生きがいは沢山あるように感じました。

リタイア後の充実した生活において最も重要と思われるのは“健康”“生きがい”“お金”が3本柱であると言われております。この特別企画ではその中から“生きがい”について考えてきました。生きがいは全く百人百様であると思います。

総会の特別企画でお話頂いたお三方のお話から共通して伺えることは、セカンドライフをより豊かな充実した人生にするために、積極的に地域・趣味・ボランティアなどのコミュニティに飛び込んでいき、友人やご家族との交流を深める努力をされている点がポイントではないかとわかりました。

これらをご参考に、社友会会員の皆様方には一層充実したセカンドライフをお過ごしくださるよう祈念致しております。

ファイザー社友会